みなさんの暮らしと
つながっています。

はまだ議会だより

Vol.59
令和２年（2020年）
11月１日発行

主な記事

９月定例会議のポイント、トピックス……2・3
個人一般質問……6～11
市民対談……12・13

表紙作品協力：Atelier Sunoiro

9月定例会議

今回はこれがポイント!

新条例制定・令和元年度 決算認定

９月定例会議では、今年度末で廃止される自治区設置条例に代わる**浜田市協働のまちづくり推進条例**が審議され、賛成多数で可決されました。この条例は、昨年11月から検討委員会で審議を重ねてきたもので、これからの浜田の住民主体のまちづくりについて基本的な理念や仕組みを定めるものです。また、議員定数等議会改革推進特別委員会で熟議を重ねた上で提出された**浜田市議会の議員の定数を定める条例**については、反対意見もありましたが賛成多数で可決され、来年行われる次回の一般選挙から定数が２人減の22人となります。新型コロナウイルス感染症対策の市の独自支援第３弾を含む**一般会計補正予算（第６号）**も、慎重な審議を行い、可決成立しました。

本議会では、予算決算委員会で**令和元年度決算認定**を行い、一般会計の他、国民健康保険や下水道などの特別会計についてチェックを行いました。一般会計では令和元年度に実施された約270件の主要な事業について、最少の経費で最大の効果を得ることができているかという視点で、予算の執行状況や事業の成果を各委員がそれぞれ質疑。委員からは執行率の低さの理由や事業実績の評価について多くの質問が出され、事業の有効性や効率性について厳しく審査をし、決算数値の正確性などを求める意見を付して認定としました。詳細は４ページをご覧ください。

トピックス

浜田市協働のまちづくり推進条例を可決!

令和2年度で自治区制度が終了します。それに代わる浜田市におけるまちづくりの基本的な考え方や仕組みを示した条例ができました。

このような形に表すことで、市民の皆さん、団体、そして行政の役割を改めて確認するとともに、まちづくりへの主体的な参画意識を共有しようというメッセージが込められています。

市民一丸となって、暮らし心地の良い浜田市をつくっていきましょう。

問 どんなことが書かれていますか?

答 まちづくりに関する組織のあり方、計画づくりなどへの市民参画の方法、市民主体のまちづくり活動への市の支援方法などです。

問 市民とは誰を指しているのですか?

答 市内に住んでいる人だけでなく、市内で働く人や市内に通学する人たちも含みます。

問 自治区制度はどう変わりますか?

答 自治区長がいなくなり、その役割を支所長が担います。また、まちづくり活動を支援するための人員補強や施設の整備などが図られます。公民館のコミュニティセンター化はこれにあたります。また、各自治区が持っていた地域振興基金がなくなり、中山間地域振興を目的とした新たな基金が設置されます。

ハッチョウトンボ親子観察会
（金城町雲城地区）

トピックス

議員定数2人減の22人を議会として決定！

議員定数は浜田市議会基本条例で「改正の議案は地方自治法の規定により委員会又は議員から提出する」こととされています。

議員定数等議会改革推進特別委員会において集中的に協議を重ね、現行の定数24人を2人減の22人とする、議員の定数を定める条例の一部改正案を委員会として提案し、本会議で賛成多数により可決されました。

この定数は次回の一般選挙からの適用です。

牛尾委員長の経過報告と条例提案

問 議員定数の検討で重視したことは？

答 地方自治、議会制民主主義の観点、熟議の合議体として議会の持つ監視や政策立案、住民意思の代表などの機能について検討し、人口減少、類似団体との比較と併せ、市民アンケートの結果も参考にしました。若い人が挑戦しやすくする処遇改善の必要性も議論し、22人が適当と判断しました。

問 議会はどう変わりますか？

答 議員1人の責任は重くなります。議員の質や姿勢を問う厳しい意見や議会活動が見えないとの声もあります。襟を正し、広報広聴機能の充実を図り、自治区制度廃止後のまちづくりも全市一体で取組み、さらに議会改革を進める決意を込めて議会として定数を決定しました。

議案等の賛否の公開 本会議

7月臨時会議では賛否が分かれた議案はなく、9月定例会議で賛否が分かれた議案等のみ掲載しております。各議員の賛否や反対理由、陳情審査結果、討論などの詳細は、市議会ホームページをご覧ください。

浜田市議会　議案等・結果　検索

令和2年7月 臨時会議
- 市長提出議案1件
- 議会提出議案1件

令和2年9月 定例会議
- 市長提出議案26件
- 議会提出議案2件
- 陳情8件

議案番号	議　案　名	賛成	反対	
発議第4号	浜田市議会の議員の定数を定める条例の一部を改正する条例について	20	3	西川、田畑西村
認定第1号	令和元年度浜田市一般会計歳入歳出決算認定について	22	1	西村
認定第2号	令和元年度浜田市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	22	1	西村
議案第60号	浜田市協働のまちづくり推進条例の制定について	22	1	澁谷

討論

討論とは、会議最終日の表決前に、議案等への賛成・反対意見を表明することです。

7月臨時会議

議案第59号 令和2年度浜田市一般会計補正予算（第5号）
賛成　澁谷　幹雄

9月定例会議

発議第4号 浜田市議会の議員の定数を定める条例の一部を改正する条例について
賛成　澁谷　幹雄
反対　西川　真午・西村　健

認定第1号 令和元年度浜田市一般会計歳入歳出決算認定について
反対　西村　健

認定第2号 令和元年度浜田市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について
反対　西村　健

議案第60号 浜田市協働のまちづくり推進条例の制定について
反対　澁谷　幹雄

議案第65号 令和2年度浜田市一般会計補正予算（第6号）
賛成　澁谷　幹雄

check! check! check!

令和元年度のお金の使い方を議会がチェック

9月は決算議会と言われるように、前年度の決算を審査し認定することがメインです。

9月定例会議で令和元年度浜田市一般会計と特別会計の決算審査を行いました。

「令和10年度以降は財政運営が窮迫する。事業の中断や延期、抜本的な見直しを行うこと、公共施設の削減、人口減少に即した体制づくり、事業のスクラップ&ビルド推進、都市基盤整備などのまちづくりと住民福祉の増強のバランスを考えて事業の推進に図られたい。」という監査委員からの指摘を参考に、4日間にわたり、189の質問を通して、慎重に審査しました。

以下の附帯意見を付して賛成多数で認定しました。

附帯意見（概要のみ掲載）

①正確な決算数値の把握及び資料作成について
②適正な財産管理について
③まちづくり総合交付金の明確な使途基準について
④予備費の充用について
⑤適正な予算要求と主要施策等実績報告書への評価等の記載について

解説 用語

決算と審査
決算とは、数字で表した市政の実績です。審査とは、決算をチェックすることで、市政運営の適否判断や、今後の予算編成や執行の指針となるよう議会が担う重要な役割です。

附帯意見
附帯意見とは、決算認定のための意見・要望のことを言います。

☑開府400年事業の検証は？

Q記念事業は、全市一丸で取組み、昨年度最も重要な事業だった。決算審査をする今９月定例会議において、収支報告と事業内容の検証結果は報告されるべきではないのか？（この指摘によって後日報告された。）

A「歴史・文化の再認識と次世代への継承」、「交流人口・関係人口の拡大」を目的に取組んだ。一定の成果があった。この事業の効果を各部局で連携しながら今後に生かす。

Q事業検証を終えての反省点はないのか？開府400年推進室の人件費は？

A一過性の事業とならないよう、継続事業を検討する。総事業費は4,582万円、人件費は2,255万円。

☑時間外勤務手当を減らすには？

Q職員の年間時間外勤務手当が、１億5,000万円から減っていないのでは？

Aここ２年間は、横ばいで推移している。

Q屋上での喫煙は職務専念義務に違反するのでは？喫煙時間は時間外勤務時間から除かれるのか？

A除いていないが、業務に支障が出る程度であれば、注意・指導が必要。

☑はまチャレに挑戦！

Qはまだ健康チャレンジ事業（はまチャレ）は、市民の健康長寿と将来の介護保険料や医療費の抑制を見据えた素晴らしい事業だ。継続のための課題は？

Aまだまだ参加者が少ない。今年はグループエントリーを開始した。アプリ導入も研究している。

☑まちづくり総合交付金の使途は適正？

Qある自治会では交付金額８万7,000円のうち、役員手当が５万円という決算があった。問題はないか。

A町内会費などの自主財源を含めた総事業費の中での割合は高くなく、問題はないが、交付金の収支報告としては改善が必要。会計処理方法について対象自治会と協議する。

Q祭典費にこの交付金を活用している自治会があるが、可能なのか？使い方のルールに準じたチェックをしてほしい。

A宗教的活動などに使うことはできない。不適切な使い方があれば対処する。使い方のチェックは行っている。検討委員会からの指摘もあり、ルールの改変は今後検討する。

NEWS 01

コロナ対策支援第２弾、第３弾予算を可決

第２弾

７月27日、本年度２回目の臨時会議において新型コロナウイルス感染症対策、第２弾の補正予算８億2,900万円が審議され、執行部とともに議会も迅速に対応し、可決されました。主なものは国の緊急経済対策などにおける補正予算関連の６事業、追加で取組む浜田市単独事業等の15事業です。

【主な浜田市単独事業】

●**インフルエンザ予防接種費用助成事業**…１億8,200万円（令和２年10月１日～令和３年１月30日実施）
65歳未満の市民に１回目3,500円の助成…差額は自己負担。ただし、生活保護受給者は全額助成。
65歳以上の市民１人１回、自己負担1,000円。

●**新型コロナウイルス感染症関連経営支援事業（中小企業者等応援給付金）**…１億6,000万円
令和２年２月から10月までのいずれかの月の対前年同月比売り上げ減少率20％以上50％未満の中小企業者等に対し、法人40万円、個人事業主20万円の給付金支給（市役所４階に相談窓口を設置）。

第３弾

９月定例会議に上程された補正予算25億6,000万円のうち、新型コロナウイルス感染症対策、第３弾として国の補正予算関連事業２事業、追加で取組む浜田市単独事業等の９事業で19億1,700万円です。

【主な浜田市単独事業】

●**観光誘客多角化促進事業（貸付金）**…4,000万円
市内で活動し、浜田市と連携し観光庁の委託事業を実施する団体に事業終了までのつなぎ資金を融資。

●**石見神楽特別番組制作事業**…1,660万円
市内の神楽団体が上演する特別番組を制作し、将来に向けた記録映像や今後の神楽のPRとしても活用。

浜田市議会としては、今後のコロナウイルス感染症の状況が見通せない中、これからも市民の皆さまの声に耳を傾け、施策を提案し市政に反映されるよう取組んでまいります。

NEWS 02

議員研修会で SDGsを学ぶ

議会の活性化に向けてより研さんを積むため、議会運営委員会主催で議員研修会を開催しました。「SDGsの視点で地域づくりを考える」と題し、公益財団法人しまね国際センターの方に講師を依頼し、浜田と松江をつなぎ、オンラインで研修を受講しました。

カードを使ったワークやSDGsに関するクイズもあり、能動的に研修を受講し、理解を深めることができました。

【SDGs（エスディージーズ）とは】

「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略称であり、2015年９月に国連で開かれたサミットの中で世界のリーダーによって決められた、国際社会共通の目標です。

市政を問う

23名が個人一般質問

個人一般質問とは

各議員が市民の代表として、市長などに、事務の執行状況や将来の方針などについて、所信や疑問をただすことです。詳しい内容については市議会ホームページでご覧いただけます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

浜田市議会はSDGs（持続可能な開発目標）を推進しています

質問内容をSDGsの17のゴールで分類しています。

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、議員の質問時間を１人当たり20分に短縮して行いました（本来は１人当たり30分、答弁を含めて１時間15分で終了します）。
また、アクリル板を設置し、感染予防に努めています。

すべての人に健康と福祉を

医師が退職された、後任医師は？

串﨑　利行

Q 昨年度末をもって、医師が１人退職された。高齢化率が高い浜田市においては重大な問題と感じるが、後任医師について問う。

A 島根県から医師派遣をしてもらっている。後任医師を現在探している。

Q 看護師について、人数の推移を問う。

A 令和２年は12名体制、平成29年から31年は11名体制である。

Q 正規職員が２名減り、４名体制だが問題ないのか問う。

A 来春１名の正規職員の採用を予定しており、体制はしっかり確保していく。また、医療統括監には、毎週１回以上、本庁での会議に出席してもらい、情報交換に努めている。

認知症の人が活躍できる環境づくりが重要

柳楽　真智子

Q 「浜田市認知症の人にやさしいまちづくり条例」が制定されて11カ月経過した。条例制定以降の認知症施策の変化について問う。

A 認知症になっても安心して暮らせる地域づくりに向けて、認知症を正しく理解し、見守りや困り事のお手伝いなどの実践活動ができる組織「チームオレンジ」を立ち上げる取組を進めている。

Q 認知症になっても社会参加ができる環境づくりが重要だが、市としての所見を問う。

A 認知症の本人と家族の意思を尊重し、地域団体や関係機関及び事業者と連携し、見守りや緊急時支援の体制整備や、地域の自主的かつ自発的な活動を支援する。

ジェンダー平等を実現しよう

魅力ある浜田市づくりの戦略は？

村武　まゆみ

Q 人口減少対策として、若い女性を増やす施策が必要である。具体的な取組を問う。

A 女性が勤めたい職業や働き方を考える施策を講じる。そして女性の意見を聞きながら、総合戦略に「女性が暮らしやすいまちづくり」の項目を今後新たに追加したい。

Q 魅力を発信していくための広報戦略は？

A 魅力ある浜田市づくりを推進する上で、広報活動は非常に重要であると認識している。ＳＮＳを活用しながら広報に努めている。

Q 広報の専門的なスキルが必須で、民間力の登用も検討してはどうか？

A 民間の登用なども考えながら、より効果的な広報を検討していく。

質の高い教育をみんなに

歴史資料館の新設は根本的に見直すべき

道下　文男

Q コロナ禍での、今後の財政運営を問う。

A 市民生活や市内経済に多大な影響が生じており、今後の財政計画にも大きな影響を及ぼすものと考えている。

Q 大型事業の見直しをすべきではないか問う。

A 限られた予算を、感染症対策に有効に活用することが最優先課題と考えている。その上で中期財政計画に盛り込んでいる大型事業は、財源調整を行い実施したい。

Q 松江市庁舎新築への署名運動が広がっているが、必要不可欠とは程遠い、歴史資料館新築への見直しの考えを問う。

A 検討委員会の予算を認めていただいたし、市民の大方の理解も得ているものと考えている。

未来社会を見据えた人材育成の環境整備を

三浦　大紀

Q 産業振興の視点からも人材育成は重要。高校での就労体験（インターンシップ）を推奨する。市も協力して充実を図るべき。

A 依頼があれば協力する。県への要望も検討。

Q 市内中学校から高校への進学率は、年々低下。高校の魅力化と中学校の学力低下対策は必須。

A 生徒の進路希望が多様化。それに伴う学力育成が必要。宿題と授業を連動させ、自らの課題意識の醸成を図る。

Q 小・中の授業においても「情報の活用」を意識することが重要。デジタルストーリーやアニメ制作など様々なアプリなども使って、生徒がより表現しやすい環境整備を。

A 教員・生徒のＩＣＴ活用能力の向上に努める。

質の高い教育環境は人の思いと関わりから！

西田　清久

Q 第四中学校は、学校統合計画審議会の答申で、第三中学校への統合が望ましいとされている。教育委員会は「何とか存続させたい」という思いはなかったのか問う。

A 今回の答申は、学校施設の老朽化対応を最優先とすべきとの方向性をもって、重点的に審議が行われている。学校統合に関して、一般的には、地域の方は総じて学校を残してほしいと学校統合に反対である。保護者の中には教育環境のことを考え、学校統合もやむを得ないと考える方もおられ、両方の意見がある。学校統合については、教育環境の改善を第一に考えて行うことが重要と認識しており、答申は現状を踏まえたものである。

歴史文化保存展示施設整備に専門家の検証を

西川　真午

Q 市の整備方針の施設の規模、設置場所、整備費用について、専門家による検証が必要である。

A 場所は、浜田市世界こども美術館への増設が前提。規模や整備費用等について検証する。

Q 複合化する対象施設として、浜田城資料館についても、専門検討委員に情報提供すべきだ。

A 浜田市世界こども美術館に増設することは決めているが、その経緯については次回の専門検討委員会で丁寧に説明する。

Q 市民の納得を得て事業を進めるために、検討の過程で市民との対話の機会を設けるべき。

A あくまでも専門検討委員会の案をまとめてから、市民に示しパブリックコメントを行う。

6 安全な水とトイレを世界中に

安全な水とトイレを世界中に

外資企業の風力発電事業に危惧

岡本　正友

Q 湧水（伏流水）を利用する美川水源地の1500㍍近くの唐倉山に、外国資本企業による11基の県内最大となる大型風力発電事業が計画中。建設からの水環境への影響が懸念され、借地契約終了後の土地取得の可能性にも不信と不安を持つ。

浜田市の水源を守るための条例制定と、外国人の土地取得を認めない規制規約は必要では？

A 水源を保全するための具体的な制度はない。土地取得も併せて、前向きに条例などの整備を図る。

風力発電の柱脚部（江津市）

8 働きがいも経済成長も

働きがいも経済成長も

頑張ろう！浜田の飲食・宿泊事業所

沖田　真治

Q コロナ禍で大打撃を被った、市内飲食店の売り上げ回復を目的としたはまだ飲食・宿泊応援チケット事業をさらに効果的に支援、拡充するために増刷して販売期間を延長するべきではないか？

A 経済団体からの要望を受け、9月定例会議に増刷し1万冊分の補正予算を計上している。販売時期は、実行委員会で協議が行われ、感染症の拡大状況や第1弾の販売状況を見ながら、期間を延長して販売することが検討されたことを踏まえて市として対応する。

Q 販売促進への取組はできているか？

A 購入できる施設を8月から2カ所加えた。各店舗で取組む感染症対策支援もしている。

弥栄地域ブランディング戦略について

田畑　敬二

Q （一社）奥島根弥栄の設立目的について聞く。

A 弥栄自治区においては主要産業である農業を中心に、農地を守り、地域を守ることを目的に進めている。

Q 販路の実績はどうなのか。

A 販売面では、産業経済部と弥栄支所が連携して、広島の百貨店及び東京のスーパーへ営業して取引が始まった。

Q 量的にはどの程度か。

A 広島方面では、約2300㌔、関東方面では約4700㌔の取引がある。

地域の農地

9 産業と技術革新の基盤をつくろう

産業と技術革新の基盤をつくろう

水産浜田復興へ、待ったなしの状況では？

澁谷　幹雄

Q 浜田市は、水揚げ高が減少する状況下にあって水産浜田復興に向けて、どう取組むのか？

A 沖合底びき網漁船4カ統とまき網漁船2カ統の存続が必要不可欠。リシップ事業実施後、5年から8年経過したことから、国事業を活用した漁船の新船建造について、生産者の意向を確認しながら協議している。高度衛生管理型4号荷捌所も、7号荷捌所に続き令和4年度完成する。陸上養殖推進も、マルハニチロ株式会社と協議中だ。

沖合底びき網漁船の出漁式

11 住み続けられるまちづくりを

住み続けられるまちづくりを

地元タクシー事業あってのドア・トゥ・ドア

小川　稔宏

Q 地域公共交通再編計画でも中山間地域のタクシー事業者の厳しい現状を認識されている。新型コロナの影響で厳しさが増している。維持・存続のための事業者支援の現状と対策について問う。

A 直接的な事業者支援は行っていない。検討中の新たな交通手段の導入はタクシー利用の拡大につながると期待する。市長会を通じ県への要望事項として、生活交通対策交付金でのタクシー補助に対する支援の追加要望を行っている。県では生活交通確保対策協議会のワーキング部会として検討プロジェクトチームが今年2月に設置され、これまで財政支援のなかったタクシー補助の在り方の検討が始まっている。

クマの出没・その対策は

永見　利久

Q クマの出没、その対策は。

A 警察と連携したパトロールや、地域住民に出没の情報提供、行政連絡員への住民周知依頼や防災行政無線で放送を行っている。

Q 今年になって、出没が多くなった原因は。

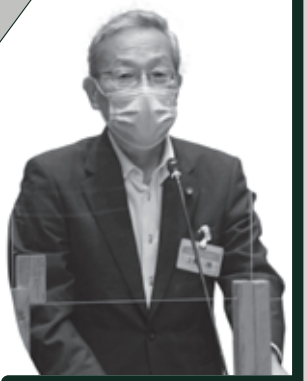
A 天候不順で、山に食べ物がないので、人里まで行動範囲を広げていることが原因と思慮される。

Q 目撃通報後の状況確認と、捕獲の状況は。

A 住民への注意喚起を行い、人身事故の発生が懸念される場合は、出没経路や原因を把握し、県の許可を得て、捕獲檻を設置し捕獲している。

クマ鈴も忘れずに

コロナウイルス感染症流行後のまちづくり



上野　茂

Q コロナウイルス感染症後に来るであろう一大転機を市長はどう捉えているか？

A 新しい生活様式、働き方改革が加速し、東京一極集中是正、地方分散と国全体の在り様が変わる。その受け皿となるよう通信環境整備など魅力あるまちづくりに取組む。

Q 今はビジネスチャンスでもある。それを応援する前向きな姿勢が若者や企業を引き付ける。今後どのように本市への移住・定住を促進していくのか？

A 移住検討者へ都市部にはない、田舎ならではの住みやすさ、空き家バンク登録を増やし、高速情報通信を整え、新たな生活スタイルを提案できるよう努める。

美川地域のまちづくりが衰退しない支援を

佐々木　豊治

Q 第四中学校統廃合について、美川連合自治会から出された「まちづくりを進める上での小中一体型のモデル校の建設」の要望は実現できるのか。

A 小規模校の課題は解消できないと思うため要望に応えるのは厳しい。

Q 仮に四中が廃校になっても、避難設備が充実した体育館を建設したり、公民館や放課後児童クラブを建て替えたりなど、美川地域のまちづくりが衰退しない支援に取組むべきと思うがどうか。

A 美川小学校建て替えの際は複合化施設にとの答申もあり、支援に取組む。

Q 過疎債の動向により、学校建設の財源確保ができなくなるのでは。

A 事業が予定通り進むように努めていく。

11 住み続けられるまちづくりを

住み続けられるまちづくりを

指定管理制度による施設の運営管理について

川上　幾雄

Q 制度運営で留意すべき点について問う。

A 公の施設を民間事業者などのノウハウを活用することにより、住民サービスの質の向上を図るために設けられ、より効果的・効率的に運営することが重要。市としては、施設の設置目的に照らし、適切に行われているかなどに留意が必要。

Q その他に、定期的な収支報告、市民のチェック機能、サービス向上改善のための行動、第三者機関による監査、市職員による指導なども大切と思うがいかに?

A 設置者として管理が十分・適切に行われているかを考える立場であり、運営を行っていく中でチェックを第三者も含めて行うことも大変必要。

アフターコロナの戦略で、浜田市をPRだ

野藤　　薫

Q アフターコロナを見据えて関係人口増加への浜田応援団だと思うが、成果目標は何か?

A 梨田昌孝氏に団長をお願いし、浜田市の様々な課題解決の一助にしたい。

Q 日本遺産の外ノ浦地区の整備状況は?

A 市道の改良計画にあわせ幅員狭小箇所の改良、歩道の安全施設整備など今年度以降順次行う。

Q 未成線サミットでVR（仮想現実）を導入できないか?

A 佐野・宇津井の皆さまが主体で活動され、感謝している。協議会のご意見を伺い検討する。

紅葉の
下長屋トンネル

元気な中山間地域振興の仕組みづくりパートⅠ

飛野　弘二

Q コロナ禍を移住推進の大きなチャンスと捉え、ホームページ「はまだ暮らし」の全面的刷新を図る必要があるが問う。

A 刷新を検討する。

Q 政府はコロナ禍対応策として高速情報通信基盤の整備方針を示した。遅れている浜田市はこのチャンスを逃してはならない。準備状況を問う。

A 既に申請した。「ひゃこるネット（CATV）」を抱える三隅自治区では今後の運用など地域協議会に諮る。

Q 棚田地域振興緊急対策において既に全国では29都道府県で532地区が手を挙げているが浜田市の協議会立ち上げ状況を問う。

A 該当地域内外の多様な構成員により組織し手を挙げていきたい。

地域を守れ 市民の暮らしをつくれ

芦谷　英夫

Q コミュニティセンターに地域団体組織の事務局機能を持たせる考えは。

A まちづくり推進委員会の事務局を担う、つなぐ機能など地域の実情に合わせ柔軟に対応したい。

Q 住民の願いに応え、地域を守るため、美川地区小中一体校舎の検討など、政治決断する考えは。

A 美川地区に小学校は残したい。中学校についてどうするのか、一体校舎について検討したい。

Q 住民の生活と地域を守るため交通の便の確保は。

A 平成31年3月地域公共交通再編計画を策定し、地域の実情に応じ、具体的な交通手段を検討したい。

美川地区の合同運動会

13 気候変動に具体的な対策を

気候変動に具体的な対策を

気象対策「マイ・タイムライン」は必要だ！

布施　賢司

Q 高齢者や障がい者の避難方法を事前に決めておく「マイ・タイムライン」の取組と作成は。

A 非常に重要で、今年度作成するハザードマップの配布と併せて、浜田市版の「マイ・タイムライン」の様式を情報発信し、作成が進むよう取組む。

Q 避難所での障がい者への合理的配慮は。

A 避難所運営の重要な課題の一つで、感染症との複合災害の対応と併せて今後も取組んでいく。

Q 避難生活編のケアプランを作るべきだ。

A 取組んでいきたい。

Q 災害時における外国人労働者への配慮は。

A 必要な情報発信ができる仕組みづくりが重要で、庁内の関係課や関係機関と連携して取組む。

14 海の豊かさを守ろう

海の豊かさを守ろう

連続100回目の質問は、私の原点水産振興だ

牛尾　　昭

Q 瀬戸ヶ島埋め立て地の大規模養殖場実現は。

A マルハニチロの返事待ちである。

Q 新市場の暑さ対策は。

A 窓を開けて、防鳥ネットを張った。

Q 次の市場建設には、課題克服が必要だが。

A 天井も含め、総合的学習や観光の視点から2階を充実する。

Q 新公設市場になぜ加工業者が入れないのか。

A 指定管理者がテナント誘致を含め検討されたが、地元加工品を仕入れる直営化方式である。

Q 買い叩きはないか。

A 市の関与があり、あり得ない。

Q 新市場のバス停は。

A 石見交通と交渉し、設置する方向。

渚の交番beを活用した海洋教育の推進を！

笹田　　卓

Q 瀬戸ヶ島に開設された渚の交番beを活用し、さらに海洋教育を推し進める必要があるのでは？

A 渚の交番beを最大限活用し、海洋教育の拠点となるよう努めていく。

Q 3月に開設される旧しまねお魚センターの施設に、自然エネルギーを導入し、光熱費を緩和できないか？

A 改めて検討する。

海洋教育の拠点施設 渚の交番be

16 平和と公正をすべての人に

平和と公正をすべての人に

不正は許さない市の姿勢を示すことが大事

西村　　健

Q 雇用促進住宅金城団地23戸で契約法人の社員でない計60人の無断同居を確認。退去を願ったとの先日の報告に関連し、2年前、同国府団地で発生した同法人に関わるトラブルなどについて問う。

A 入居期間中、団地自治会から騒音やごみのポイ捨てに関する苦情や、退去後、「無断同居があった」との報告があった。

Q 申請時の法人事務所の所在や実態、入居時の法人と入居者との雇用関係、入居中の無断同居の事実確認は行ったのか。

A 行っていない。

Q 法人退去後の市の対応に最大のポイントがある。全容解明への考えは。

A 無断同居などの状況や市の対応、再発防止策についてまとめ、報告する。

第1回

市民対談

子どもも大人も地域のみんなで支え合う。1人も来なくなるまで続けます。

「はまだふれあい食堂」
代表 **細川 豪**さん

細川　豪（ほそかわ たけし）
1973年7月生まれ47歳。浜田市生まれ。沖縄で大学生活を送り、就職後は広島、福岡、東京で7社を渡り歩き、2008年のリーマンショックを機に浜田にUターン。2014年にファイナンシャルプランナーとして独立。趣味は登山とゴスペル。

記念すべき第1回目の市民対談として、浜田市で「はまだふれあい食堂こくふ会場」を運営されている細川豪さんに、開催日の会場にお邪魔してお話を伺いました。
（インタビュアー：西川　真午）

4世代が集う居場所をつくりたい

――はまだふれあい食堂は、いつ始められたのですか。

細川　2017年1月から月1回のペースで開催していて、今日が43回目になります。

――「こども食堂」のイメージがあったので、子どもが多いのかなと思って来ましたが、大人の利用者も多いんですね。

細川　はい。始めたきっかけは、貧困や孤食の子どもを支援するための「こども食堂」をテレビで見て、浜田で自分がやろうと思ったことだったんですが、2回目からは「はまだふれあい食堂」に変えました。居場所を求めて集まってくる子どもたちに、食育体験や外遊びを通して触れ合うことを、地域のお年寄りの皆さんが楽しみにしておられます。親子で来られる方もおられるので、ここを地域の4世代が集う居場所にしたいです。

――1食の料金は子ども100円、大人300円と安価に設定して、場所や食材や運営については、地元の方々や企業・団体に協力していただいているそうですね。

細川　創設時に相談した方から場所の提供を受け、国府地区で始めたのですが、今ではボランティアスタッフや食材の提供など、地元の皆さんからの温かい支援で食堂の運営が成り立っています。ありがたいことです。

細川さん（中央）とボランティアスタッフの皆さん（浜田市国分町600　民宿しまや）
※写真撮影の時だけマスクを外していただいています

毎月第３土曜日が子どもたちの楽しみに

来場者集めに奔走してやっと軌道に

――立ち上げの時にはご苦労があったのでは。

細川　始めて間もなくは、やはり来場者集めに苦労しましたね。ボランティアスタッフ10人に来場者が10人という時もありました。子どもがいる友達に声をかけて来てもらっても、地元以外の人は1度来たら2度目は来てくれません。地元の人に来てもらえるように、一生懸命工夫をして呼びかけましたね。軌道に乗るまでは1年ぐらいかかりましたが、今では何もしなくてもこんなに来てくれるようになり、継続性が担保できたと思います。

――1日当たりの来場者はどのくらいですか。

細川　多い時で60人ぐらいです。子どもだけでなく、親や地域の方にも門戸を広げた結果ですが、門戸を広げて誰が来てもいい雰囲気を作ることで、本当に支援が必要な人が来てくれるといいなと思っています。

――活動への思いを聞かせてください。

細川　本当はこのような施設がない社会が理想ですが、これだけ貧富の差が出てきて生活力が違ってくると、やらなくてはいけないと強く思います。ここ「こくふ会場」だけでなく、市内の各地区に同様な食堂ができて、すべての子どもたちが歩いて安心できる居場所に行けるといいと思います。今の自分ではこれ以上はできないので、やりたい方にノウハウを提供して側面支援をしたいです。

次の目標は「移動こども食堂」

――今後やってみたいことはありますか。

細川　こくふ会場については、1人も来なくなるまで続けます。私の夢は、全ての子どもたちの居場所が徒歩圏内にある社会を作ることですが、すぐには難しいので、仲間が今検討している、バスを改造して移動型のこども食堂を作って、各地域に出向くという計画を応援したいと思っています。

――最後に、議会や市政への要望などがあればお聞かせください。

細川　今回、私の活動を取り上げていただきありがたいと思っています。もっと浜田市内に広がっていけばいいと思っているので、共助の活動として議会内でも取り上げていただきたいと思います。

――わかりました。今日はありがとうございました。応援しています。

地元の方々が調理スタッフを担う

委員会活動レポート

産業建設委員会

ふるさと納税の現状を確認

令和元年の「ふるさと納税に関する現況調査結果」によると、浜田市の寄付金額は、13億3,922万7千円で全国1,741の市町村で66位、中国地方では米子市の次で２位、県内では１位との報告を受けました。

年々、順位も下がり、寄付額も減少していますが、今後の活動を確認しました。

競合する自治体が増加し、厳しい現状ですが、事業者と連携しながら、さらに多くの寄付をしていただけるように進めていくとのことです。

ふるさと寄附は大切な財源です。産業建設委員会としても今後も注視していきます。

福祉環境委員会

子育て支援の在り方を議論

子育て支援課からの聞き取りや子育て世代との意見交換会を実施し、今、本当に必要な支援について委員会で討論を重ねています。

また、令和４年の「子育て世代包括支援センター」の開所に向け、子どもや子育て世代に充実した支援ができるよう、さらに意見交換会や勉強会を実施する予定です。

子育て世代との意見交換会の様子

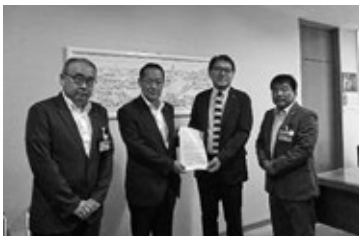
自治区制度等行財政改革推進特別委員会

行財政改革にかかる申入れを提出

本委員会で検討した「行財政改革にかかる申入れ」を副市長と総務部長に提出しました。

①優秀な人材を確保するための職員採用の年齢制限の撤廃②保育料無償化によってもたらされた市の負担軽減分5,000万円を使っての子育て支援の充実③職員の時間外勤務手当の20％削減を実行し児童医療費助成事業の対象者を高校３年生（18歳）まで拡大④地域間で不揃いの組織の解消と整理、職員の地域担当制の制度化、地域住民とともに地域の計画策定やまちづくりの実践⑤民間企業、NPO、住民等と公共との連携を推進し事業費の圧縮と財政負担の削減。

引き続き、浜田市の行財政改革が、行財政改革のためではなく、浜田市政発展と市民福祉の向上に直接的な効果をもたらすよう、政策を提案できる委員会としての使命を十分自覚して活動していく決意です。



正副委員長が申入れ

総務文教委員会

幼児教育環境の実態を調査中

総務文教委員会は「こどもの可能性を育む幼児教育」について、政策提案できるよう精力的に取組んでいます。就学前の幼児教育や保育は、教育と子育ての部局にまたがり、各機関や施設などでは、時代のニーズに応えて運営しています。

幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿―「健康な心と体」「自立心」「協同性」など―を備えることを目標に掲げ、子育て支援センター、幼稚園、保育所、認定こども園、認可外保育施設など関係機関や施設などから、実情や要望などを調査しています。

次代を担うこどもの可能性を高める、必要な政策が実行でき、子育て環境が整うよう、委員会として具体的な政策を提案していきます。

はまだ議会だより読者アンケート

前号の第１回目の読者アンケートへのご協力、ありがとうございます。集計結果や寄せられたご意見は以下のとおりです。今号のアンケートにもぜひご協力をお願いいたします。

【総　　数】15件（アンケート回答：10件、ご意見・ご要望：５件）
【年代別数】20代：１件／50代：１件／60代：５件／70代：４件／80代：４件

浜田市議会のコロナ対策へのご意見

Q２『浜田市議会のコロナ対策についてどう思いますか？』の問いに、「初手が早かった印象」「さらなる対策に期待」「ウェブ会議は評価できる」などのご意見をいただきました。まだ終息の見通しがつきませんが、引き続き皆さまからのご意見・ご要望とそれに伴う対策を市長に伝えていきます。

自由意見・ご質問への回答

皆さまからいただいたご意見・ご要望は議員間で共有させていただき、今後の議員活動、議会活動に生かしていきます。その中に質問事項がございましたのでお答えします。

Q市職員の給与、議員の報酬は歳出のどこに含まれるのか？

A議員報酬は議会費に含まれています。職員給与については歳出の各項目に分散しています。決算付属資料の主要施策等実績報告書では、職員給与費としてまとめて記載してあります。

キリトリ

はまだ議会だより vol.59 読者アンケート

Q１　あなたの	お住まい	年　齢	性　別
	町	歳	

Q２　リニューアルした今号で気になった記事はどれですか？その理由は？

①トピックス（P-2,3）　②議会が厳しくチェック（P-4）　③まるよみ（P-5）
④市政を問う（P-6 ～ 11）　⑤市民対談（P-12,13）　⑥委員会活動レポート（P-14）

理由（　　）

Q３　自由意見（浜田市議会へのご意見やご要望などをお聞かせください）

最寄りの公民館の回収箱へご投函ください。ウェブでの回答はこちらから。⇒

集計の都合がありますので、11月末日までにご回答をお願いします。

12月定例会議開催スケジュール

日	月	火	水	木	金	土
11/29	30 開会 議案の提案説明	12/1 個人一般質問	2 個人一般質問	3 個人一般質問	4 個人一般質問	5
6	7 議案質疑	8 総務文教委員会	9 福祉環境委員会	10 産業建設委員会	11 予算決算委員会	12
13	14 予算決算委員会 （予備日）	15 休会	16 採決 散会	17	18	19

紙面をリニューアルしました

議会の様子をより幅広くお知らせできるよう紙面を見直しました。委員会における政策討論や視察の様子をお伝えするページを新設し、市民対談や読者アンケート欄を加えて、広聴機能強化も意識しました。一般質問は、SDGsのテーマごとに分類しています。カラーページも追加しました。本紙に全ては書き切れませんが、議会に関心を持っていただけるよう、引き続き編集・改善に努めてまいります。　　委員長　三浦　大紀

表紙について

石州和紙にダウン症の方が描かれた作品です。市内にあるアトリエ・スノイロに作品提供のご協力をいただきました。

はまだ議会だより mini 始めました!!

令和２年10月１日に記念すべき第１号を発行しました。ウェブ版として浜田市議会HPに掲載しています。次号は令和３年１月１日に発行予定です。お正月のこたつの中でお楽しみください♪

お詫びと訂正

前号、はまだ議会だよりVol.58（令和２年９月１日発行）に、議会広報広聴委員会の確認不足により、誤りがございました。以下のとおり訂正し、再発防止に努め、読者の皆さまには深くお詫び申し上げます。

【表紙】
誤 トッピクス
正 トピックス

【６ページ上から５段目19行】
誤 冠水対策では、基礎を１㍍高くします。
正 冠水水位を考慮した基礎の高さを設定します。

議長なんでもメール　議長や市議会に関するご意見・ご要望・ご提言などお気軽にお寄せください。
浜田市議会ホームページ→議長なんでもメール

あとがき

９月定例会議では議員定数の審議がなされ、次期選挙から定数は２人減の22人と可決しました。私たち議員は、より一層襟を正し、議会活動へ取組み、市民の皆さまのご期待にお応えすべく、心新たにしています。

加えて「はまだ議会だより」もこれまで以上にご覧いただきやすい紙面となるよう工夫を加え、新鮮なニュースや地域の情報を受け止めた議会活動が、市民の皆さまに伝わるよう試みております。

これからも、浜田市議会、「はまだ議会だより」にご期待ください。

（記　川上　幾雄）

編集委員

委員長　三浦　大紀
副委員長　西川　真午
委員　村武まゆみ
川上　幾雄
小川　稔宏
野藤　薫
笹田　卓
芦谷　英夫
佐々木豊治
澁谷　幹雄

★この議会だよりは1部あたり46・46円（税込）でできています。

発行：浜田市議会　編集：議会広報広聴委員会　〒697-8501　島根県浜田市殿町1番地 TEL（0855）25-9800　FAX（0855）22-6765